



ALPINE REPORT

第49期決算報告書

2014年（平成26年）4月1日～2015年（平成27年）3月31日



株主の皆様へ

Driving Mobile Media Innovation

モバイルメディアの未来価値へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第49期決算報告書をお届けするに当たり、ご挨拶申し上げます。

当季事業環境は、国内では消費税増税に伴う個人消費の減速が懸念されましたが、「アベノミクス効果」による円安基調や株高が進行し、輸出企業を中心に様々な企業が増収増益となるなど、景気回復の傾向が見られました。新車販売動向に目を向けると、新興国ではマイナス成長の傾向があるものの、原油安の追い風もあり堅調に推移しているアメリカ市場と、継続的成長を遂げている中国ではともに販売台数が好調に推移しました。また一時は債務危機による景気不安が見られた欧州でも底打ち感が出始めています。

このような状況の中、当社におきましては、国内市販ビジネスの「ビッグX」車種専用・パーフェクトフィッ



トのプレミアムバージョンが、その操作性や大画面に加え、装着時の高級感、更には車載機器としてのシステム機能面などを市場から高く評価頂き、カーナビ最高賞とされる、「顧客満足度調査No.1」「用品大賞2014グランプリ」「オートサウンドウェブグランプリ2014ゴールドアワード」の3冠を獲得しました。

また、自動車メーカー向けビジネスにおいても、世界の代表的自動車メーカー複数社からそれぞれ大変名誉あるサプライヤー賞を受賞しました。これらはいずれも、アルパインの技術力や提案力、品質、更には顧客価値の創出に努めた車載機器専門メーカーとしての総合力を評価いただいた結果です。

このような功績に加え、主要顧客の好調な新車販売動向や為替の追い風もあり、当期も前期に引き続き増収増益を達成することができました。

これらを踏まえ、株主の皆様からのご支援にお応えするため、期末配当金は一株につき20円を予定して



おります。これにより中間配当金10円と合わせて年間配当金は、前期比5円増配となり30円となる予定です。

クルマの電子化の加速に加え、IT技術の進化に伴いクルマ社会を取り巻く環境が大きく変化している中、安全・安心への取り組みも重要となっています。取り組むべき技術領域の拡大に対応するために、開発の効率化はもとより親会社であるアルプス電気(株)との協業や他社とのアライアンスを活用するなど、技術開発力の強化を図り、より一層競争力ある企業へと成長してまいります。

当社を取り巻く事業環境は様々な変化がございますが、変化することを常態と認識し、また変化を成長へのチャンスと捉え、全社一丸となり業績改善に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

宇佐美 徹

アルパイン企業理念

アルパインは、人々の心を大切にし、仕事の質を高め、活力に溢れた魅力ある企業を目指します。

1. 「個性の尊重」

アルパインは社員一人一人の誇りと情熱を大切にし、人を育て、人を活かし、相互信頼の絆を築きます。

2. 「価値の創造」

アルパインは時代をリードする先進技術に挑戦し、人々に喜びをもたらす新しい価値を創造します。

3. 「社会への貢献」

アルパインは品位ある製品の提供を通じ、明日の豊かな社会作りにも貢献します。



Audio



Visual



Navigation



Communication
Cloud Service



Drive Assist
Cockpit Display

事業報告

音響機器事業

当事業部門では、日・米・欧の市販市場で、高精細・高画質ディスプレイやスマートフォン用アプリケーションに対応した高付加価値機能搭載CDプレーヤーに加え、ブルートゥース機能搭載のエントリーモデルの販売強化を図りましたが、売上は厳しい状況で推移しました。

自動車メーカー向け純正品は、スピーカーやアンプを核に高音質を追求したサウンドシステムの売上が北米での新車販売好調に伴い増加しましたが、低迷する欧州やアジア市場の影響を受け、減少しました。

以上の結果、当事業部門の売上高は629億円(前期比9.3%減)となりました。

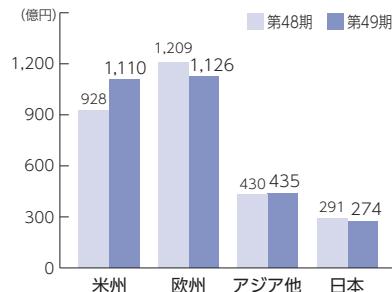
情報・通信機器事業

当事業部門では、欧米市販市場に新製品の車種専用大画面ナビゲーションを投入、拡販に努めました。また、国内市販市場に広範囲の地図画面表示や迫力ある映像を再現する世界最大サイズ10インチ大画面ナビゲーションを投入、製品装着時の高級感やシステム機能面がお客様から高評価を獲得し、売上が増加しました。

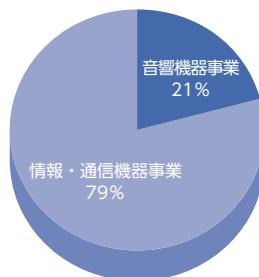
自動車メーカー向け純正品は、一部製品の売上がモデル切替えにより減少したものの、北米及び中国市場において欧州高級自動車の販売が好調に推移したことから、新車に搭載されたディスプレイ複合製品の売上が増加しました。

以上の結果、当事業部門の売上高は2,316億円(前期比7.0%増)となりました。

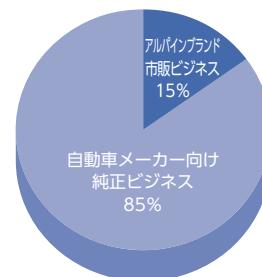
地域別売上状況



事業部門別売上比率



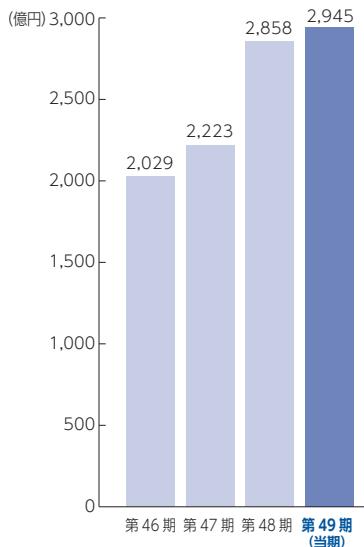
仕向け先別売上比率



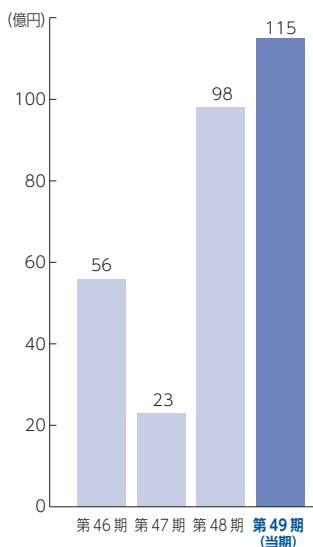


主要経営指標の推移

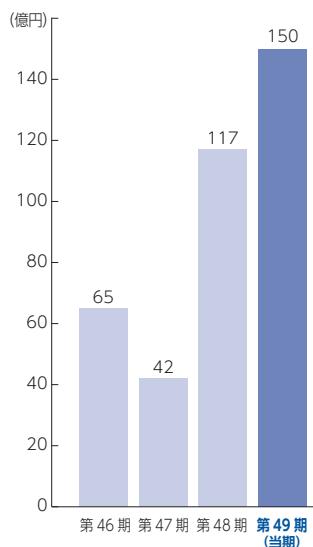
売上高



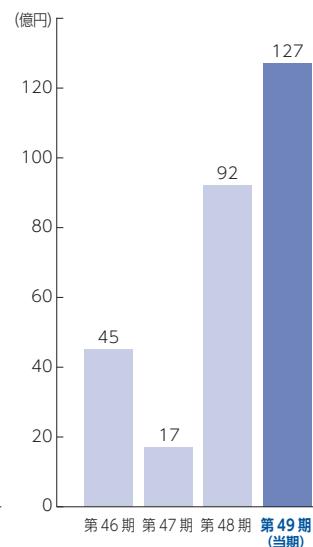
営業利益



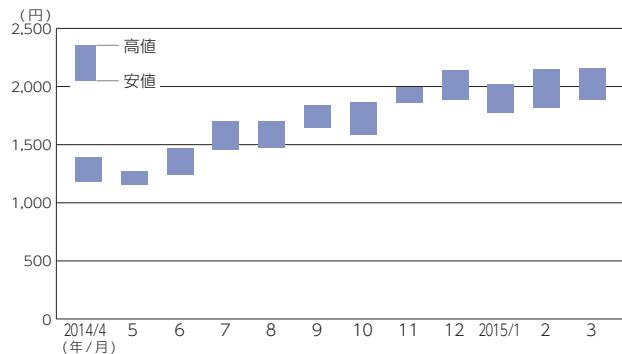
経常利益



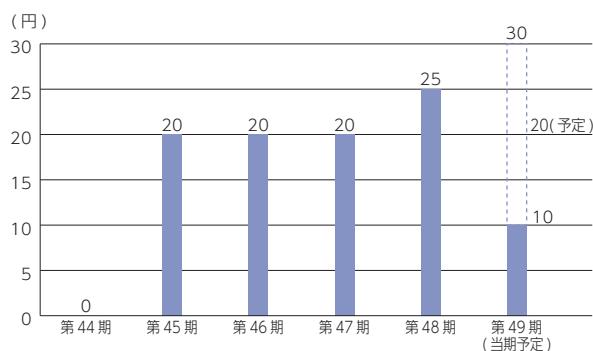
当期純利益



株価時系列データ



配当金推移



トピックス

市販 車種専用ナビ 「ビッグX」シリーズ三冠受賞



ビッグX:VOXY専用モデル



ビッグXとリアビジョン

車種専用・大画面カーナビ「ビッグX」シリーズが、「2014年日本ナビゲーションシステム顧客満足度調査SM 総合満足度 第1位」(主催:J.D. パワー アジア・パシフィック)、「用品大賞2014グランプリ」(主催:日刊自動車新聞社)、「オートサウンドウェブグランプリ2014 ゴールドアワード」(主催:ステレオサウンド社)をそれぞれ受賞し、カーナビ最高賞の3冠を獲得しました。

□「2014年日本ナビゲーションシステム顧客満足度調査 総合満足度 第1位」

ここ2年間に市販据置カーナビを購入したユーザーを対象に実施された調査であり、「ナビゲーション機能」、「音楽/

映像機能」、「操作性」、「モニター」の4つのファクターにおける詳細な項目を評価し、市販カーナビに対するお客様の満足度を点数化したものです。

【受賞理由】商品特性である「ナビゲーション機能」や「操作性」を改善した結果、商品としての完成度を高く評価され、総合満足度第1位を獲得しました。2012年から3年連続の受賞となりました。

□「用品大賞2014 グランプリ」

2013年7月から2014年6月までに発売された様々な市販カー用品の中からただ一つの商品に与えられる最高賞のグランプリは、販売量だけではなく、「商品の技術開発力」、



「企画力」、「アイデア」、「ユニークさ」などを重視し、カー用品販売店へのヒアリングやアンケート調査の結果をもとに選考委員会によって選出されます。

【受賞理由】カーナビの基本機能を高く評価頂いたことはもとより、市販では世界最大となる10インチディスプレイを車種専用設計によって美しく装着させるデザイン性、また後部座席用モニターのリアビジョンやバックカメラとのシステム連動などが、お客様一人ひとりに楽しく快適なカーライフを提供しているという点も高く評価され受賞に至りました。「ビッグX」シリーズとしては2010年、2012年に続いて3回目のグランプリ受賞となります。

□「オートサウンドウェブグランプリ2014 ゴールドアワード」

2014年に発売されたすべての車載音響機器関連製品から音質が特に優れた製品を選出し、中でも「ゴールドアワード」はその最高賞にあたるものです。「ビッグX」シリーズは、今回の受賞を含め「ゴールドアワード」を3年連続受賞しました。

【受賞理由】受賞にあたり「オーディオ、ビジュアル、ナビのそれぞれの性能が、ひときわ高い次元でバランスした稀な製品であり、特にオーディオ性能が傑出している」と講評いただきました。

新型アルファード/ヴェルファイア専用製品 6月発売

2015年1月にトヨタより発表された新型アルファード/ヴェルファイア専用の大画面ナビゲーション「ビッグX」及び、後部座席用モニターやステアリング連動バックビューカメラを6月に発売しました。旧型アルファード/ヴェルファイア専用製品が非常に好評だったことから、注目度が大変高く、発売前からたくさんのお問い合わせをいただいていたこともあり、拡販に努めてまいります。



ビッグX:新型ヴェルファイア専用モデル

トピックス

自動車メーカー各社から名誉ある賞を受賞



GM表彰式

アルパインは、米国ゼネラルモーターズ(以下GM)、フィアット・クライスラー・オートモービルズ(以下FCA)、ボルボ・カーズ(以下VOLVO)からそれぞれ名誉ある賞を受賞しました。

□GM[2014 Supplier of The Year]

GMの数千社のサプライヤーの中から当社を含めたわずか78社が「2014 Supplier of The Year」を受賞しました。

アルパインはGMとのビジネスにおいて革新的な技術提案や課題解決への取り組みを積極的に行っているなど、開発・供給・品質における戦略的パートナーとして高く評価されています。今回の受賞は、製品の操作性はもとより、高級



GMより頂いた受賞記念ポスター

感あふれるデザインが認められた大変嬉しい受賞です。

□VOLVO[2014 Award of Excellence]

VOLVOより「2014 Award of Excellence」における技術賞を受賞しました。車載では稀な赤外線方式のタッチセンサを採用したことで手袋をしたままでも操作可能とし、北欧など寒冷地での利便性の向上を実現した「センタースタックディスプレイ」と、車室内スペースを広く保ったまま音域の出力向上を可能とした「フレッシュ エア サブウハー」の技術力が高く評価されたものです。

□FCA[Supplier Recognition of Excellence]

FCAより電装系サプライヤーとしては唯一、サプライヤー貢献賞である「Supplier Recognition of Excellence」を受賞しました。



従来、大型スピーカーであるサブウーハーは装着スペースに制限がありました。当社ではより良いサウンドを提供すると同時に、装着場所の制約を解消すべく、薄型・軽量の製品開発に取り組んでまいりました。その技術を活用し、FCA に対して薄型・軽量スピーカーの天井装着を提案し、革新的なサウンドシステムを実現しました。安全性・製品品質はもとより、豊かなカーライフを提供している製品として今回の受賞につながりました。

これらの受賞を励みに、今後とも自動車メーカー様の良きパートナーとしてお客様に一層ご満足いただける製品の開発に努めてまいります。



VOLVO授賞式

小型・薄型・軽量化を達成した「フレッシュ エア サブウーハー」

サブウーハーは高級サウンドシステムを実装する上では大変重要な製品のひとつですが、サイズや重量が他スピーカーに比べ大きく、装着場所に制約があることが一般的です。「フレッシュ エア サブウーハー」は、車内の音響効率を最大限に突き詰めると同時に、製品性能を向上させ、更には小型・軽量化を図りました。旧モデル比容積86%、重量80%削減という大幅な小型・軽量化を達成し、取り付けられる車の燃費向上や取り付けの利便性向上を図っています。



フレッシュ エア サブウーハー (左) と従来型サブウーハー (右)

トピックス

世界最大のコンシューマーエレクトロニクスショーに出展



来場者でにぎわうアルパインブース

1月6日から9日に米国ラスベガスにて世界最大のコンシューマーエレクトロニクスの祭典「CES2015」が開催され、アルパインも出展しました。

市販製品を展示するブースでは、「車種専用」をコンセプトとし、アルパインがターゲットとしているピックアップトラック向けの車種専用ナビや、車内の音響特性を車ごとにチューニングしたサウンドシステムを搭載したデモカーを展示するなど「ALPINE RESTYLE」をコンセプトに、トータルシステムソリューションを提案しました。

また、自動車メーカーVIPの方々を中心とした招待者向けに、アルプス電気(株)とアルパイン合同で先端技術の展示会を行い、共同開発しているプレミアムコックピットを始めとする新技術デモ製品を展示しました。



アルパインブースのデモカー

開催期間中は、多数のお客様にご来場いただき、有意義な情報交換の場となりました。今回のCES展示会を起点に、北米・欧州・日本・中国の各お客様のオフィスで技術展示会を開催し、今後のビジネス拡大につなげてまいります。



「ALPINE RESTYLE」を掲げたアルパインブース

復興支援活動



日野皓正氏との共演



日野皓正氏と招待したいわき市の学生

当社は福島県いわき市に本社を置く企業として、東日本大震災の発生から4年たった今でも、継続的に復興支援活動に注力しています。

11月28日、日産自動車(株)が寄贈された多目的小型商用車に当社カーナビゲーションとリアビューカメラを装着し、双葉郡の8つの各町村へ寄贈しました。操作性の良さが高く評価されているカーナビゲーションと、運転の安全性を強化するリアビューカメラを搭載することで安全安心快適にお使いいただきたいという想いからです。震災後、双葉郡の各町村の行政機能は県内外の各地に分散し、広範囲にわたり住民サービスを届けるため、長距離の移動を余儀なくされています。この度寄贈された車両は、各自治体の支所間の連絡など、日々の業務に活用されています。

2月21日、世界的トランペット奏者の日野皓正氏と当社社長 宇佐美ら社員で構成するビッグバンドが共演するコンサートを、いわき市と共同開催および後援しました。音楽を通じて地域文化へ貢献することで、東日本大震災の復興支援をしたいという想いが一致して実現したイベントです。多くの来場者で満員となったホールでは、演奏終了後も拍手が鳴りやまないほどの大盛況となりました。今回のコンサートにはいわき市内の高校や高専、大学から学生約100名を無料招待し、プロの生演奏に触れてもらいました。

今後もアルパインは、地元 福島県の復興支援に積極的に取り組んでまいります。

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

	第49期 (2015年3月31日現在)	第48期 (2014年3月31日現在)		第49期 (2015年3月31日現在)	第48期 (2014年3月31日現在)
資産の部			負債・純資産の部		
流動資産	142,952	128,628	流動負債	57,784	55,610
現金及び預金	56,150	46,698	支払手形及び買掛金	28,818	30,926
受取手形及び売掛金	42,238	41,029	その他	28,966	24,684
たな卸資産	30,657	29,031	固定負債	9,302	9,865
その他	13,905	11,868	繰延税金負債	4,301	5,836
固定資産	68,357	62,066	その他	5,000	4,029
有形固定資産	28,952	26,909	② 負債合計	67,086	65,475
無形固定資産	2,601	2,359	③ 株主資本	123,949	114,085
投資その他の資産	36,803	32,797	その他の包括利益累計額合計	18,511	9,974
① 資産合計	211,309	190,694	新株予約権	32	—
			少数株主持分	1,731	1,158
			純資産合計	144,223	125,218
			負債・純資産合計	211,309	190,694

(単位:百万円)

[連結財務諸表のポイント]

① 資産合計

現金及び預金の増加94億円、受取手形及び売掛金の増加12億円、棚卸資産の増加16億円、有形固定資産の増加20億円、投資有価証券の評価替等による増加34億円等により、前連結会計年度末比206億円増加の2,113億円となりました。

② 負債合計

支払手形及び買掛金の減少21億円、未払法人税等の増加11億円、未払費用の増加14億円、その他流動負債の増加17億円等により、前連結会計年度末比16億円増加の670億円となりました。

③ 株主資本

自己資本比率は67.4%であり、引き続き財務の健全性を維持しています。

④ 売上高

北米及び中国市場における新車販売が好調を継続し、新車に搭載されるディスプレイ複合製品の売上が増加したことや、国内市販市場に投入した10インチ大画面ナビゲーションの販売が好調に推移したこと

に加え、為替が円安で推移したことから、前期比3.0%増の2,945億円と過去最高を記録しました。

⑤ 営業利益

為替レートが想定よりも円安に推移したことや、原価改善が進展したことから、前期比17.4%増の115億円となりました。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は173億円(前期は180億円の増加)となりました。この増加の主な要因は、税金等調整前当期純利益162億円の計上、減価償却費66億円の計上、売上債権14億円の減少及びたな卸資産8億円の減少による資金の増加と、仕入債務40億円の減少及び法人税等の支払37億円による資金の減少です。

⑦ フリーキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリーキャッシュ・フローは98億円の増加となりました。



連結損益計算書

	第49期 2014年4月1日～ 2015年3月31日	第48期 2013年4月1日～ 2014年3月31日
4 売上高	294,560	285,884
売上原価	242,923	237,205
販売費及び一般管理費	40,112	38,865
5 営業利益	11,523	9,813
営業外収益	3,843	2,389
営業外費用	367	439
経常利益	15,000	11,763
特別利益	1,275	783
特別損失	72	176
税金等調整前当期純利益	16,202	12,371
税金(法人税等)	3,304	3,016
少数株主利益	193	125
当期純利益	12,704	9,229

(単位:百万円)

包括利益計算書

	第49期 2014年4月1日～ 2015年3月31日	第48期 2013年4月1日～ 2014年3月31日
少数株主損益調整前当期純利益	12,898	9,354
その他の包括利益合計	8,743	8,044
包括利益	21,641	17,399

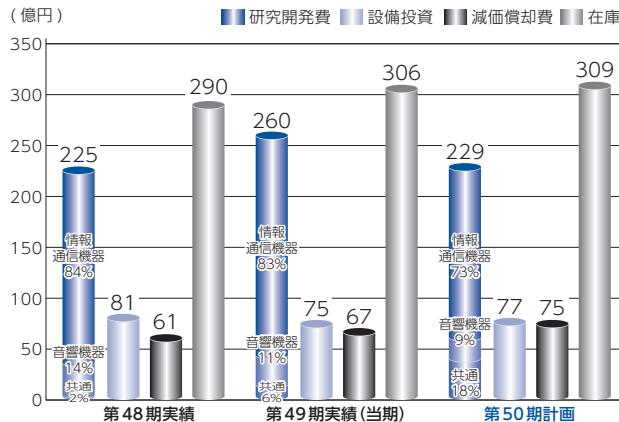
(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

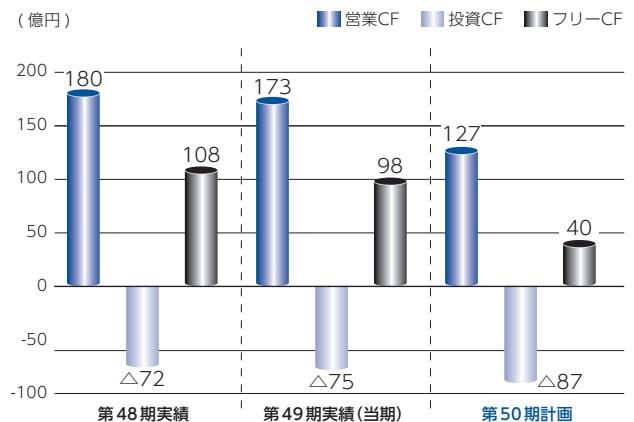
	第49期 2014年4月1日～ 2015年3月31日	第48期 2013年4月1日～ 2014年3月31日
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	17,380	18,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,529	△7,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,330	△1,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,930	3,048
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,450	12,415
現金及び現金同等物の期首残高	46,680	34,052
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	212
現金及び現金同等物の期末残高	56,130	46,680

(単位:百万円)

投資・在庫計画



キャッシュ・フローの状況 ⑦



(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨て表示しています。

会社の概要

会社概要 (2015年3月31日現在)

社名	アルパイン株式会社
英文社名	ALPINE ELECTRONICS, INC.
本社 / 東京事務所	〒141-8501 東京都品川区西五反田一丁目1番8号 TEL 03(3494) 1101 (大代表)
いわき本社	〒970-1192 福島県いわき市好間工業団地20番1号 TEL 0246(36)4111 (大代表)
設立	1967年5月
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	69,205,356株(除 自己株式 579,145株)
資本金	259億2,059万円
グループ従業員数	11,343名(連結ベース34社合計)
国内関係会社	アルパインマーケティング株式会社 アルパインテクノ株式会社 アルパインマニュファクチャリング株式会社 アルパインプレジジョン株式会社 アルパイン技研株式会社 アルパイン情報システム株式会社 アルパインビジネスサービス株式会社 アルパインカスタマーズサービス株式会社 他4社
海外関係会社	アルパイン・アメリカ アルパイン・ヨーロッパ アルパイン・中国 アルパイン・アジア・パシフィック 他26社
ホームページアドレス	http://www.alpine.com/j/

役員の状況 (2015年3月31日現在)

氏名	当社における地位および担当または主な職業
宇佐美 徹	取締役社長 (代表取締役)
森岡 洋史	常務取締役 技術・開発統括
梶原 仁	常務取締役 生産・購買担当
甲斐 政志	常務取締役 管理担当
片岡 政隆	取締役 アルプス電気(株) 代表取締役会長
小林 俊則	取締役 欧州担当
遠藤 浩一	取締役 製品開発担当
水野 直樹	取締役 営業担当
田口 周二	取締役 OEM製品開発担当
池内 康博	取締役 中国担当
長谷川 聡子	社外取締役 弁護士
飛田 勝美	常勤監査役
小島 秀雄	社外監査役 公認会計士
柳田 直樹	社外監査役 弁護士

※取締役 長谷川聡子氏及び監査役 小島秀雄氏は、東京証券取引所の定めに基づく「独立役員」です。

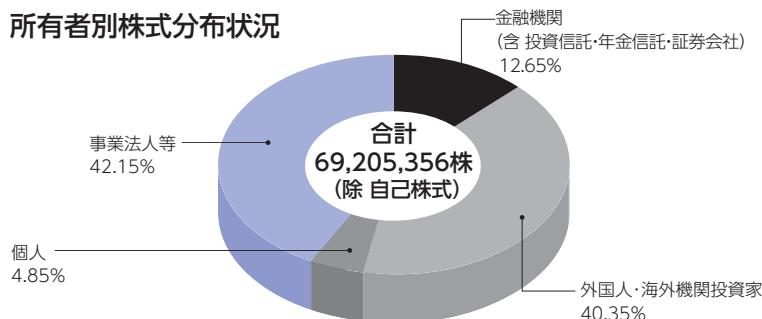


株式の状況(2015年3月31日現在)

大株主 株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数 千株	持株比率 %	持株数 千株	持株比率 %
アルプス電気株式会社	28,215	40.77	—	—
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04	3,484	5.03	—	—
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	2,585	3.74	—	—
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,273	1.84	—	—
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	1,244	1.80	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,168	1.69	—	—
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,016	1.47	—	—
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	881	1.27	—	—
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	803	1.16	—	—
MELLON BANK, N. A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	747	1.08	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	651	0.94	—	—
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	633	0.91	—	—
GOLDMAN. SACHS & CO. REG	620	0.89	—	—
GOLDMAN. SACHS INTERNATIONAL	606	0.87	—	—
本田技研工業株式会社	585	0.84	3,600	0.19

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

決算期日 年1回 3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 基準日 定時株主総会については、3月31日。
 その他必要がある時は予め公告致します。

定時株主総会
 公告掲載

6月下旬
 電子公告により、当社ホームページ
 (<http://www.alpine.com/j/investor/index.html>)に掲載致します。尚、やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。
 ※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

上場証券取引所
 証券コード
 売買単位
 株主名簿管理人
 特別口座の口座管理機関

東京証券取引所市場第1部
 6816
 100株(1単元)
 三菱UFJ信託銀行株式会社

【株式に関するお手続き】

お手続き・ご照会の内容	お問合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ○郵便物の発送と返戻 ○支払期間経過後の配当金 ○特別口座から一般口座への振替 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ○単元未満株式の買取・買増請求※ ○住所変更・氏名変更 他 	口座を開設されている証券会社等にお問合わせ下さい。 ※但し、証券会社に口座を開設されていない株主様は、三菱UFJ信託銀行にお問合わせ下さい。

www.alpine.com



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しております。